

奈良県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画第2次計画 概要

1. 目的および背景

(1) 目的

環奈良県内に生息するニホンザルについて、個体群を長期にわたり安定的に維持することを前提にサルによる農林業被害、生活環境被害、人身被害を防止するため科学的かつ計画的な管理を実施することを目的とする。

(2) 背景

県では、令和3年(2021年)に「奈良県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画 第1次計画」を策定し、加害レベルの高い加害群を減少させることを目標に取り組んだ。加害レベルが4以上の群れの加害レベルの低減を達成した一方で、加害レベルが3~4以上の群れは増加しており、群れの分布域も拡大していることから、引き続き加害群への対策を継続する必要がある。

2. 期間 令和8年4月1日から令和13年3月31日の5年間

3. 区域 奈良県全域

4. 管理の目標

(1) 中長期的な目標

地域個体群の安定的な維持を図りつつ、人とサルの適切なすみ分けを実現することを目標とする。

(2) 短期的な目標

計画的な捕獲と被害防除対策を実施することで、以下の目標の達成を目指す。

- ・加害レベルの低減 加害レベル3~4の群れを17群から半減させる。
- ・被害地域拡大の抑制 平成16年度調査の分布域(88メッシュ)を基準に、群れの分布の前線を後退させる。
- ・農業被害の減少 農林業集落アンケートにおける農業被害について、“深刻”と回答する集落の割合を16%から10%以下に減少させる。

5. 被害防除対策に関する事項

- ・農作物の残渣の埋設等除去、放置果樹の伐採など、サルの誘引物の除去
- ・耕作放棄地の解消や放置林の手入れ、緩衝帯の形成等、集落および周辺環境整備
- ・サルに効果的な防護柵の設置
- ・地域主体の追い払い
- ・地域への普及啓発および人材育成

6. 捕獲に関する事項

群れの加害レベルや、群れサイズ、分布の状況より捕獲計画を策定し、保全に配慮しつつも被害軽減を達成できるよう計画的に実施する。

7. その他

計画の進捗状況や評価等のため、以下の事項を実施する。

- ・有害鳥獣捕獲による捕獲状況の把握
- ・農林業被害状況の把握
- ・農林業集落アンケートによる動態把握
- ・広域的な生息状況を把握するためのモニタリング